

りんごの新商標名「北紅」と「星の金貨」に決定

農林総合研究センターりんご試験場 育種部

当試験場が育成・選抜して、平成15年3月と平成16年1月に品種登録されている「あおり13」と「あおり15」について、県では平成16年4月に商標登録を申請していましたが、このほど、「あおり13」が「北紅」、「あおり15」が「星の金貨」として登録されました。

○北紅（きたくれない）

「世界一」と「あかね」の組み合わせで、収穫時期が10月上旬の中生種です。特徴は、大きさが350～400gと大玉で、果色は濃い紅色、糖度が14～15%程度、酸度が0.3%程度と「ふじ」より甘く、香りがありジューシーで蜜がたっぷり入ります。普通貯蔵で12月末ころまでおいしく食べられ、「つがる」と「ジョナゴールド」をつなぐ品種として、また、酸味があるジョナゴールドに対して甘い品種として期待されています。

○星の金貨（ほしのきんか）

「ふじ」と「青り3号（東光×リチャードデリシャス）」の組合せで、収穫時期が10月下旬の晩生種です。特徴は果色があざやかな黄色で、大きさが250～300g程度、糖度が15～16%前後、酸度は0.3%程度と「王林」より甘く、ジューシーで食感が良好です。手頃な大きさと果皮が薄いので、丸かじりりんごに適します。また、貯蔵性に優れており、普通冷蔵でも6月末までおいしく、「王林」販売の後を担う黄色品種として期待されています。

きたくれない
北紅



ほしのきんか
星の金貨

